

## 高齢者の健康づくり ビジョンの策定を急げ

夢みらい倶楽部 高谷 弘志



問) 急速な高齢化社会を迎えるに当たり、健康で生き生きとした高齢者づくりは、活力ある網走の実現に資することであり、加えて、財政の健全化にも大きく寄与することになる。近い将来、当市の4分の1を占める高齢者の健康づくり、ひいては、市民の健康づくりのキッチリしたビジョンづくりを、研究機関や医療機関、スポーツ予防医学の専門家など民間と連携して、早急に策定すべきと考えるが、市長の所見を。

答) 高齢者が安心して健康で生きがいを持って暮らせるまちづくりを理念とした「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」、また、市民の皆さんが健やかで心豊かに暮らす元気な網走の実現をめざした「市民健康づくりプラン」を策定し、介護予防事業や高齢者の健康づくりを現在進めている。しかし、健康で活力あるまちを維持していくためには、医療費や介護給付費などの社会的負担をいかに減少させるかという観点からの評価をしていくことが今後の課題であり、関係部署が理念を共有し連携して、数値的な到達度や将来のあるべき姿を明らかにしながら、また、ご指摘の研究機関や医療機関、スポーツ予防医学の専門家などとも連携し、取り組みを進めたい。

## 津波警報発令に伴う 対応と今後の課題

夢みらい倶楽部 岡本 俊行



問) 災害対策本部の対応と評価について。

答) 避難勧告の広報活動や避難所開設など初期活動は、関係機関との連携で迅速に行えたが、一部の避難道路での渋滞や、指定以外の避難所への避難などもあり、今後課題を整理し、万全の態勢を取っていきたい。

問) 指定されている避難場所の課題があるのでは。

答) エコーセンターや北コミセンなど低地にある施設は、洪水や津波の避難所に指定していない。市の広報などで、今後も避難所の周知徹底を図ってきたい。

問) 避難道路等の安全確保や関係機関との連携の重要性。

答) 渋滞を回避し、避難者が混乱せず円滑に移動できるよう、地区ごとに適切な避難経路と避難場所を指定し、的確な交通整理を行うことが重要。関係機関と協議し、緊急事態発生時には連携して対応していきたい。

問) 障がい者や高齢者への避難対応と自主防災組織は。

答) 一人で避難することが困難な高齢者や障がい者への早急な避難支援が必要。災害弱者への適切な援助活動を行うために、身近な地区でバックアップ体制を整えることが重要であり、自主防災組織の重要性について理解いただき積極的に参加いただけるよう要請していきたい。

## 湖の環境保全並びに 護岸整備について

平成会 成田 公義



問) 網走湖を含めた河川流域の環境保全についてどのように対応していくのか。

答) 流域の共通認識に基づく環境保全対策が不可欠。森林の保全や適切な土地の利用に加え、環境に配慮した河川改修など、山、川、湖、海までの水系全般にわたる一貫した取り組みが必要であり、国・道や流域の自治体と連携して積極的に取り組んでいきたい。

問) 川向海岸道路の護岸工事は、かさ上げだけでなく波浪防止の潜堤や海浜保全のための離岸堤の設置も必要では。またモヨロ公園と併せ観光資源としての活用は。

答) 今回の護岸整備は越波被害防止など防災の観点から取り組んだ。すぐれた景観、海浜地の利活用への影響を少なくすることを念頭に構造物の形、配置などを決定した。指摘された整備効果は承知しているが、景観や漁業活動の問題、事業費、効果の持続性などの課題も多く、これらも含め近年の波浪データを基に検証したことを理解していただきたい。観光活用ですが、将来的には史跡公園を核として、海浜地、網走川河口周辺、帽子岩などを複合的に結びつけ、港湾整備事業なども活用するなどして、観光資源ゾーンとして利活用を図ってきたい。

## 国の増税路線から市民 の暮らしを守る対策を

日本共産党議員団 松浦 敏司



問) 国の税制改正により配偶者特別控除の廃止、老年者控除の廃止、公的年金控除の縮減、65歳以上の税措置の廃止、定率減税の縮減・廃止など、生活保護世帯以下の基準に引き下げた。高齢者や低所得者は住民税が上がり驚いている。非課税から課税世帯になる方は相当数いるが人数と税制改正による住民税の増収額はいくらか。

答) 新たな課税客体は、おおそ千人程度と見込んでいる。税制改正による増加額は、定率減税分8千6百万円、その他を合わせ約1億1千万円程度と見込んでいる。

問) 今回の税制改正で、収入が減っている中で新たに課税世帯になって、これまで受けていた除雪サービス、交通費助成制度等の福祉サービスが受けられなくなるが、これまで同様に受けられるようにすべきではないか。

答) 各サービスの対象となる低所得世帯については、非課税世帯の方を対象と判断しているため、現行どおり非課税世帯であることが対象となる条件と考えている。

再質問) 市民の生活実態は厳しい、財政が厳しいのはわかるが、僅かな予算で工夫すればできるはず再検討を。

答) 財政状況もあるが状況を見て検討したい。

この他にも防災対策について質問しました。

質問及び答弁については、要約して紹介しています。詳しい内容につきましては、市議会事務局や図書館に備えてあります会議録をご覧ください。